

教育委員会 9 月 定例会 報告

1 開催日時

令和5年9月21日(木) 13:05～14:55

2 出席者

委員 佐古 順子
中嶋 剛
前田 愛
船橋 修一
朝長 昭光
教育長 遠藤 雅己

事務局

教育政策監 江浪 俊彦 教育次長 川下 隆治
教育総務課長 児玉 英輝
教育総務課参事(学校給食センター所長) 川下 善文
教育総務課参事(学校施設整備室長) 内田 博康
学校教育課長 堺 邦寿
社会教育課長 山口 尚子 文化振興課長 大野 安生
文化振興課参事(歴史資料館長) 今村 明
図書館副館長 福田 裕健 教育総務課課長補佐 栗原 孝司

3 議事

《議案》

- 第31号議案 専決処分の承認について(人事案件について(10月人事異動))
第32号議案 専決処分の承認について(工事請負契約の締結について(工事名:
大村市立放虎原小学校南校舎棟長寿命化改良建築工事))
第33号議案 大村市教育委員会点検・評価報告について
第34号議案 大村市教育功労被表彰者の選考について

《報告事項》

- (1) ミライオン図書館のイベントについて

《その他》

4 議事録

教育長	ただいまから令和5年9月教育委員会定例会を開催します。本日の会議は、定足数に達しております。
-----	--

	<p>会議に先立ちまして、委員の皆様にお諮りいたします。第34号議案は表彰に関する議案ですので、秘密会議とし、議事日程の最後にしたいと思います。議事日程及び秘密会議の取り扱いについて、ご異議ありませんでしょうか。</p>
全委員	はい。
教育長	<p>ご異議ありませんので、そのとおり取扱わせていただきます。議事日程1「前回会議録の承認」を議題とします。原案のとおり会議録を承認することとしてよろしいでしょうか。</p>
全委員	はい。
教育長	<p>それでは、ご異議ありませんので、承認することとします。議事日程2「教育長報告」を行います。</p> <p>8月24日木曜日、令和5年度長崎県健康教育研究協議大会が川棚町公会堂で開催されております。教育委員会から私と事務局職員が参加しております。</p> <p>同日、第68回長崎県吹奏楽コンクールで最優秀賞を受賞した郡中学校吹奏楽部の先生と生徒が市長を表敬訪問していただき、私も同席しております。また、郡中学校を含む県内3校が九州大会に進んでおります。</p> <p>8月25日金曜日、第45回少年の主張長崎県大会がさくらホールで開催されております。</p> <p>8月28日月曜日、新聞、テレビ等で報道されましたが、学校法人日本体育大学との協定締結式が開催されております。松浪理事長はじめ幹部の方々が大村市にいらっしゃり、市長と協定を結んでおります。今後、スポーツコンベンション等の繋がりも含めて、子どもたちのスポーツ交流などを実施していきます。</p> <p>8月29日火曜日、長崎KSCという中学生のソフトボールクラブが全国優勝したということで、その大村市の選手3名が市長を表敬訪問されています。ソフトボールはこれで、小中高すべて全国のタイトルを取ったこととなります。</p> <p>8月30日水曜日、松原小学校のヨット教室を視察しております。パイオニア授業というものを松原小の総合教育の中に入れていただき、長崎工業高校のヨット部に来てもらい、5、6年生にヨット教室を体験してもらったものです。7年目くらいになる授業です。</p> <p>8月31日木曜日、大村市スポーツ協会のスポーツ表彰審査委員会に私が参加しております。</p> <p>9月1日金曜日、今年度最後の地区別ミーティングが萱瀬地区でありました。教育に関して色々な意見をいただきましたので、追ってご報告いたします。</p> <p>9月2日土曜日、大村市少年補導委員連絡協議会が開催されております。</p> <p>9月5日火曜日、9月市議会定例会が開会しております。</p> <p>9月9日土曜日、PTA連合会の研修会が開催されております。</p> <p>9月10日日曜日、大村高校の体育祭に初めて行ってまいりました。午前中だけの開催で、時間短縮のため校長の挨拶もありませんでした。</p> <p>9月14日木曜日、富の原小学校バレー部が全国準優勝したということで、市長を表敬訪問されています。</p> <p>9月20日水曜日、放虎原小学校及び西大村中学校の工事の進捗状</p>

	<p>況の確認に事務局職員とともに行っております。放虎原小学校のプレハブの仮校舎は非常にすばらしい出来で、この校舎のままでも大丈夫じゃないかと思ったほどでした。</p> <p>同日、旭が丘小学校の合唱クラブが九州大会に出場し、銅賞を受賞され、市長を表敬訪問されています。このクラブは、毎年、長崎県代表で九州大会に出場していますが、指導者の方が「なかなか人数が集まらない」とおっしゃられていました。</p> <p>追加になりますが、9月5日に大村市立中学校新制服、統合型制服の公式発表会を行っております。同じ日に議会にも報告しまして、了承を得ております。議会からは「補助はできないのか」、「おさがりは何年着れるのか」といった質問がありました。大きな問題はなく、発表会を終えております。今後も逐次途中経過をご報告いたします。</p> <p>以上で教育長報告を終わります。各委員から何か報告はありませんか。</p>
教育長	<p>それでは、議事日程3、第31号議案を議題とします。事務局の説明を求めます。</p>
教育総務課長	<p>第31号議案「専決処分の承認について」でございます。本日追加でお配りしました議案集をご覧ください。</p> <p>令和5年10月1日付けの人事異動について、大村市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条の規定により、2ページのとおり専決処分を行いましたので、委員会の承認を求めるものでございます。</p> <p>異動の内容につきましては、3ページのとおりでございます。係長職のみご紹介いたします。転出では、教育総務課学校施設整備室の石田係長が建築課の係長として戻られることになりました。また、学校給食センターの小林係長が税務課係長として転出されます。</p> <p>転入でございますが、石田係長の後任に建築課から本多さんが昇任されて教育総務課の係長として転入されます。また、上下水道局業務課係長の宮田さんが学校給食センターの係長として転入されます。</p> <p>一般職につきましては、ご覧のとおりです。ご審議のほどよろしくお願ひします。</p>
教育長	<p>委員からご質問はございませんか。</p>
中嶋委員	<p>学校教育課に一般職が転入していますが、これは1名増ということでしょうか。</p>
教育政策監	<p>1名加配となっております。</p>
教育次長	<p>期間限定の加配となっております。学校教育課に事務職が3名いまして、係長が1名、一般職が2名でございます。今後、産休育休が2名同時に続くことがございまして、事務の適正な執行のため、一時的に加配するものでございます。</p>
教育長	<p>他に質問はございませんか。質問を終結します。ご意見はございませんか。</p>
教育長	<p>それでは、意見を終結します。採決します。第31号議案について、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。</p>
全委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>ご異議ありませんので、原案のとおり承認することにいたします。次に第32号議案を議題とします。事務局の説明を求めます。</p>
学校施設整備室長	<p>第32号議案「専決処分の承認について」ご説明させていただきます。先月の定例会でご報告させていただいておりました、放虎原小学</p>

	<p>校長寿命化改良工事にかかる南校舎棟の建築工事につきまして、再入札の結果、落札業者が決定しましたので、2ページの専決処分書のとおり専決処分をし、工事請負契約の締結議案を9月議会へ追加で提出したため、教育委員会の承認を求めるものでございます。</p> <p>3ページをお願いします。工事名が「大村市立放虎原小学校南校舎棟長寿命化改良建築工事」です。契約金額が、5億2百70万円、契約の相手方が、「岡山建設・小森組・里脇製作所特定建設工事共同企業体」となります。</p> <p>4ページをお願いします。入札結果となります。2者の参加がっております。落札率は、93.2%となっております。</p> <p>5ページをお願いします。位置図です。場所は古賀島町133番地25、放虎原小学校の敷地内です。</p> <p>6ページをご覧ください。配置図です。網掛けしている南校舎5棟、15棟部分が工事範囲となります。工事内容としましては、構造躯体のみを残し、床、壁、天井の内装工事のやり替えや、建具の取替、外壁改修、屋上防水改修などを行うものとなります。</p> <p>7ページをお願いします。南校舎棟の平面図となっております。南校舎の構造が、鉄筋コンクリート造、5棟が2階建て、15棟が3階建てで、建築面積は980.83平方メートル、延床面積は2,038.20平方メートルとなっております。</p> <p>説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
教育長	委員からご質問はございませんか。
教育長	<p>先ほどの教育長報告で話させていただきましたが、仮校舎を中心に工事が急ピッチに進んでおりました。仮校舎は、子ども達も先生方も前の校舎と同様に問題なく生活できていると思っております。また、屋内運動場いわゆる体育館も骨組みだけになっております。</p> <p>東京で建設現場の大きな事故があったので、同じような事故を起こさないよう工事現場では、緊張感がありました。事故がないよう工事を進めていただきたいと痛切に思ったところでございます。</p>
教育長	ご意見をお願いします。
教育長	それでは、意見を終結します。採決します。第32号議案について、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。
全委員	はい。
教育長	ご異議ありませんので、原案のとおり承認することにいたします。次に第33号議案を議題とします。事務局の説明を求めます。
教育総務課長	<p>第33号議案「令和5年度大村市教育委員会点検・評価報告書（令和4年度事業分）について」でございます。</p> <p>これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づいて、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することになっております。</p> <p>また、点検・評価を行うにあっては、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」とされています。</p> <p>その「大村市教育委員会点検・評価報告書」について、教育委員会の審議を求めるものです。</p>

今回の点検評価は、昨年度の事業、令和4年度事業分を行いました。それでは、点検・評価報告書をご覧ください。

5ページから24ページまでが、本市の総合計画で定められている基本目標に対応する事業で、25ページから28ページまでは、第3期大村市教育振興基本計画に対応している事業になります。そこに各事業の概要や実績件数等を記載しております、それを評価していただいています。

報告書の2ページから4ページまでが、この点検・評価について、野田和宏様と田中まり子様の2名に、各課から概要の説明の後、ヒアリングを行っていただき、所見をいただいたものになります。

評価できる点として13項目、改善を要する点（要望も含む）として3項目を挙げていただいています。

評価できる点から、いくつかご紹介させていただきます。1番目「小・中学校教育用コンピュータ活用事業及び小・中学校教育用ICT機器活用事業を統合した小・中学校教育用ICT環境整備事業については、小・中学校教育用コンピュータの環境が整備された中で、ICT機器を活用した市全体の授業改善の推進や学力向上が期待でき、将来における新たな個に応じた教育の進展においても大変評価できる。」、2番目「英語力向上対策事業については、12人のALTを配置し、小中学校教育だけでなく、広く公立幼稚園・保育所・こども園などの子ども達へ外国人と接する学習場面を提供し、実体験を通じた英語のコミュニケーション能力を育成することで、言語や異文化に対する理解を深めることができ評価できる。」、3番目これも学校教育課になりますが、「教員補助員派遣事業については、学力向上・低学年への指導、特別支援学級への支援など、補助員の適正な配置によって、個々の児童生徒への対応ができており、学級集団の学力向上に効果的であり、評価できる。」との所見をいただいております。ほか評価できる点については、ご覧いただいていると思いますので、省略させていただきます。

改善を要する点につきましては、大きく3項目いただいております。1項目目は、去年と内容はまったく同じでございます。「〇〇日本一」と言われるような教育を一層尽力願いたいという内容でございます。

2項目目も去年から挙がっているものになります。さくらホールとプラザおおむらが文化ホールとしてありますが、もっと大きなイベントが開催できるような複合施設を含めた文化施設の整備に向け検討されていることを期待したいとの内容です。

3項目目は、今回初めてのものでございます。夏越まつりの総踊り、今は総踊りはしていないようですが、子ども達から「踊りがわからない」と聞く機会があった。大村の大事な伝統ですので、学校などで子ども達に練習の機会を与えられないかという内容でございます。

この3つの改善点につきましては、教育委員会としての考え方を、各課の意見を集約して、本日お配りしておりますので、そちらをご覧ください。

長くなりますが、読ませさせていただきます。項目1の方針、各課の意見を集約したものです。

『まず学校教育分野では、この分野のすべての事業において、その充実を図ることこそが、本市児童生徒の健やかな成長、ひいては「一

芸に秀でる教育」の実践につながるものである。そのため、日頃の教育活動全般において、「ほめる」、「認める」教育をこれまで以上に行い、児童生徒の自己肯定感、自尊心、自己有用感の醸成に努めるとともに、今後も、魅力ある大村市の人づくりに向け、各事業への取組を推進する。

また、大村市学校施設長寿命化計画を推進し教育環境の整備を進めることで、学校で行うソフト面の事業効果を最大限発揮できるよう、学校の環境改善を推進する。

さらに、奨学金制度において「一芸に秀でる」生徒に対し、学業の分野をはじめスポーツ・文化芸術の分野においても更なる活躍を支援するとともに、グローバルに活躍する人材についても支援している。今後も制度の利用状況や要望等を踏まえて柔軟に対応していくことで、幅広い分野で優れた人材を支援していく。

社会教育分野では、子ども科学館において、子どもたちに科学に対する興味を持たせることにより、科学的な事象の考察や調査研究する芽を育てる取組を行っている。また、放課後子ども教室においては、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、学習や文化活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する取組を推進している。

また、ミライ onにおいて市民が生涯にわたり学び続けることができるよう、知の拠点として、さらなる資料やサービスの充実を図り、提供を行う。リアルとオンラインの両方で、市民が様々なものに出逢い、相互につながりを持てるような交流を促進するための一助となるような事業を推進していく。

文化振興部門では、文化・芸術活動等に係る事業を毎年展開しており、市民や子どもたちが音楽に気軽に触れる機会の創出、提供に努めている。令和4年度からはさらに事業内容を拡充し、キッズプラスを立ち上げ大人が出演するコンサートで共演するなど、子どもの頃から鑑賞だけでなく演奏体験につなげ、将来的な音楽人口の増加を期待している。

また、小中学生が九州大会や全国大会に遠征する際の費用について助成し、保護者負担を軽減することで、文化活動への参加促進を図っている。

これらの事業をこれからも継続するとともに、今後、遠征費助成については一部見直しを行い、更なる拡充を図っていく。

この様な取組を通じて「〇〇日本一おおむら」と言われるよう、各事業の充実を図り、教育の基盤づくりにつなげたいと考えている。』としています。

2項目目の方針です。

『新たな文化施設の整備については、令和5年度から、総務部が新体育・文化施設の基礎調査に着手している。教育委員会においても、文化施設所管部として、施設の複合化も含め、必要な機能、規模等について提案するなど、関係部署と連携していく。』としています。

3項目目の方針です。

『市内各小・中学校においては、総合的な学習の時間や道徳教育などを通して、郷土愛を育む学習を行っている。その中で、自分たちが住む町の歴史や史跡等について調べ、その成果を発表する学習を通して、ふるさとのよさを知り、ふるさとを大切に思い、ふるさとを愛す

	<p>る心を育てることが、世代間や地域内の交流の促進にもつながる。</p> <p>「大村音頭」はふるさとの伝統の一つであり、コロナ禍前までは、運動会の種目の一つとして取り入れている学校もあった。</p> <p>今後は、各小・中学校の「ふるさと学習」の中で、子どもたちの学習課題として「大村音頭」が取り上げられる際など、例えば公民館で活動している定例利用グループなどに働きかけ、「大村音頭」を指導することのできる講師を招へいしたり、希望する児童・生徒には、そういった公民館講座を紹介したりするなど、今後検討していく。』としています。</p> <p>説明は以上です。ご審議のほど、よろしくお願いします。</p>
教育長	委員からご質問はございませんか。
朝長委員	大村音頭の家元は私の患者さんなんですが、この話を聞けば喜んで協力してくれると思います。会長の木下秀美さんか家元に話をしてみればいいと思います。医師会では、夏越まつりのときに木下秀美さんに来てもらって練習し、賞を取りました。
中嶋委員	<p>大村音頭に関するお二人の委員からの意見は、すべての小中学校で大村音頭を踊れるようにしてほしいということだと思います。これは確かに大切なことだと思います。</p> <p>卒業式では、各学校で大村市歌が歌われるようになってきました。私が校長の頃、大村市歌は歌っていませんでした。今は大村市歌が定着してきて、色々な場面で歌うようになってきています。しかし、大村音頭のほうは、夏越まつりと各町内の盆踊りのときに踊っている町内があるくらいです。学校となると取り組んでいるのは数校しかありません。できるなら総合学習の時間などで踊れるようにできないかなと私も思います。</p>
教育長	もう一つの「夢まつり」もオリジナルの曲なんですか。
教育次長	「夢まつり」もオリジナルのもので、大村音頭よりも短いですが、長く夏越まつりで踊られているものです。大村音頭よりもアップテンポのものをということでできたと聞いております。夏越まつりの総踊りでは、「大村音頭」と「夢まつり」を相互に踊っています。ただ、各町内のお祭では、「夢まつり」はあまり踊っていないと思います。
教育長	質問を終了します。ご意見をお願いします。
佐古委員	運動会も短縮されている中で、踊りを披露する場を作ったり、練習の時間を作るというのは、なかなか難しいとは思いますが。一つの学校で、例といいますか、モデルケースを作って、それを各校が導入するようにすれば、やりやすいのかなと思いました。
前田委員	私自身踊れませんし、中学生の息子も高校生の娘も踊ったことがないと思います。こういった意見をいただきましたので、進めていってもらったらと思います。
朝長委員	ある会議で、会議の出席者から市長に質問をされていて、「大村には本経寺があり、キリシタンの歴史があり、大村純忠であったりとか、そういった大村の歴史を小学生の頃から教えたほうがいい。どのくらい教えているのか。」という内容でした。市長は、「石井筆子や長与専斎の漫画を作ったりしている。」ということを言われていました。実際に学校で大村の歴史を学ぶ機会があるんでしょうか。
学校教育課長	学校における郷土の歴史については、総合的な学習の時間におい

	<p>て、小学校3年生から6年生までが、それぞれの学校で学年に応じた単元を構成して取り組んでいます。その中で市内15校とも郷土の歴史とか、郷土の偉人とか、郷土の史跡を調べる単元を組んでおりまして、まずはインターネットで調べて、その後現地を調べ、それらをまとめて発表するという学習をしています。</p>
歴史資料館長	<p>小中学校の郷土歴史の学びについて、歴史資料館では郷土史クラブを立ち上げまして、小学校では正課クラブの中で歴史クラブ、郷土史クラブを作りそれに参加する、中学校では同好会的な形で活動しています。</p> <p>点検・評価報告書の16ページになりますが、令和4年度は、10校164人が郷土史クラブに参加しています。学校でそれぞれのテーマについて学んだり、現地で勉強したり、学んだ成果を歴史資料館で発表するといった活動をしています。学校の郷土学習の支援という形で取り組んでいます。また、学校の郷土学習の中で、学芸員が講師等を行うといったこともしています。</p>
教育長	<p>大村市歌はだいぶ定着してきました。大村音頭は、何とか総合学習の時間などで取り組むようにしていければと思います。子ども達が郷土に関心を持つきっかけの一つになればいいと思います。</p> <p>先日、市の職員10人くらいで、ツーリングで天草に行きました。世界遺産を見に行きましたが、全然盛り上がりませんでした。教会の中に入っても歴史の資料はなく、世界遺産という指定だけでも意味がないと感じたところです。</p>
中嶋委員	<p>大村市歌も大村音頭もどういう経緯でできたか私は知りません。どういう経緯でできたのかということも子どもたちに教える必要があると思います。運動会で5年生が必ずソーラン節を踊るようになっていますが、それに加えて大村音頭も踊るようになれば最高だと思います。校長会等で話し合っていたきたいと思います。</p>
教育長	<p>大村市歌の作詞は、福田清人さんです。作曲は、大村高校の校歌と同じ信時潔さんです。信時さんは、シューマンに師事された方で、慶應義塾の塾歌や学習院の院歌を作られています。メロディーがものすごくきれいです。大村高校の校歌も教会の讃美歌のような感じがします。そういった歴史をしっかりと教えないといけないという中嶋委員が言われた部分はしっかりしていけないといけないと思います。</p>
船橋委員	<p>私は長崎市大黒町の出身ですので、唐人船にずっとかかわっています。伝統の年数の違いといえそうですが、町内あげてのくんちへの子ども達の育成と比べると、まだまだなのかなという気がします。</p> <p>大村の郷土史に関して言いますと、私も20年近く参加していますが、稲富裕和さん主催の新長崎学研究会の20周年がシーハットで開催されます。20年間、新長崎学研究を続けて思うことですが、参加されている方が、半分くらいが長崎から大村に移住して来られた方です。なかなか地元の方の参加が増えないということがあります。なぜかと考えたときに、大村市としてみるのか、大村藩としてみるのか、というところがあります。長崎市から波佐見町まで含めて、大村藩の歴史になります。大村市として矮小化してしまうと話が広がっていかない部分があるのかと思います。</p> <p>長崎で歴史を語るときは、ほとんど400年前の天領になってからの歴史です。それ以前に遡れるのが大村の強みかなと思います。これ</p>

	<p>は、私個人の意見ではなく、総合科学大学のブライアン バークガフニ名誉教授と語り合っていた時に、ブライアン先生がおっしゃっていました。大村市が大村藩としての長崎を網羅する歴史をやらないといけない。長崎市は天領以降の歴史をやらざるをえないと言われていました。このことについては、教育委員会としても考える必要があると思いました。</p>
教育長	<p>それでは、意見を終結します。採決します。第33号議案について、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p>
全委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>ご異議ありませんので、原案のとおり決定することにします。議事日程4「自由討論」に入ります。委員の皆様から議事以外に何かございませんか。</p>
朝長委員	<p>本日お配りした資料をご覧ください。上部には大村市のコロナ・インフルエンザの医師会がまとめた件数、下部にはコロナ・インフルエンザの全国の定点報告を載せています。</p> <p>私が9月17日の当番医でしたが、コロナが23人、インフルが11人でした。18日が少ないのは、当番医からの報告が遅れているためで、まだ増えると思います。</p> <p>定点報告を見ますと、コロナについては、8月初めから9月初めまでで、全国平均はじわじわと増えていますが、地域差があります。東京・大阪はじわじわ増えていて、福岡・長崎は7月の多かった時期から減って、横ばいといった感じです。大村市の場合は、8月初めは多かったのですが、最近はたまに多い日もありますが、4、50人程度と減っています。昨日20日は32人でした。インフルは45人でした。</p> <p>これからはインフルが問題になってくると思います。下の表のインフルの定点報告を見ると全国はじわっと増えています。福岡・長崎は、8月初めが少し多く、そこから減ってきたと思ったら、9月初めは大きく増えています。大村市も8月中旬までは1桁くらいでしたが、その次の週には2桁になって、9月19日には64人になりました。今までは、インフルエンザは12月の終わりから増えて、2月くらいまで続いていました。学級閉鎖も出ていますし、このままではコロナよりもインフルを心配しないといけなかなと思います。症状的には、コロナよりもインフルのほうが、熱も含め、きつそうにしています。インフルエンザの予防接種も10月から始まります。コロナの予防接種は昨日20日から始まっています。インフルの患者が昨年少なかったので、今年はワクチンの量が少ないです。この感じで感染が増えていくと、ワクチンが足りるか心配です。以上です。</p>
教育長	<p>朝長先生には、いつも貴重な情報を教えていただきありがとうございます。全国放送では、コロナとインフルの同時流行ばかり放送していて、インフル自体の脅威を忘れているのかなと思います。</p>
中嶋委員	<p>学級閉鎖はどうなっていますか。</p>
学校教育課長	<p>今週から学級閉鎖が出ています。学校名は控えさせていただきますが、2つの小学校、2学級となっています。</p>
船橋委員	<p>昨日9月20日に長崎県教育センターで開催された長崎県教育委員会主催の「社会に開かれた教育実践づくり」に参加してまいりました。コミュニティスクールが議題になっていまして、鹿児島県薩摩川</p>

	<p>内市の事例の紹介がありまして、小学生が郷土の歴史を暗記して語るというものでした。高校生に語ったり、観光客に語ったりして、子ども達に鹿児島を覚えさせるというもので、非常に興味深かったです。</p> <p>先週、長崎市立東長崎小学校でSDGsの特別授業を行いました。その中で、校長先生に言われたのがバックキャストを説明に入れてほしいということでした。東長崎中学校、海星中学校・高校でもSDGsの特別授業を行います、そこでもバックキャストを入れてほしいと言われました。</p> <p>バックキャストというのは、経済の分野ではよく使われる言葉です。一般的に時間は過去から未来に流れる一方通行なので、「将来のために今頑張る、今頑張れば将来うまくいく」というのは、フォアキャストになります。過去の積み上げが現在ということです。まだ見ぬ未来のために頑張るという考え方です。これが一般的な考え方です。</p> <p>バックキャストというのは、時間は過去から未来に流れているけど、未来から過去にも流れているという考えです。将来自分がなりたいものがパラレルの世界で存在し、その中で明確に自分がなりたいものを定義して、そこから遡って今があるという考え方です。これがバックキャストの考え方です。</p> <p>このバックキャストの考え方を教えてほしいという学校が多いです。会社でもバックキャストを教えています。あるべき姿を明確にして、遡って今があると考えないと、自分の過去を変えられないけども、過去を肯定することができるという考えです。経済界では、昔からある考え方です。これを学びの場に落とし込んでいこうということです。大学だけでなく、小中高でもやっていく。将来何になりたいかを明確にするということです。東長崎中学校の生徒からの謝辞で、将来プロ野球選手になりたいということをこれから堂々と発言していくと言われていました。</p> <p>こういったことを学内で教えることがなかなか難しいので、色んな人を学校に招いて、学びの場を作るとというのがコミュニティスクールなんだなと思いました。報告は以上です。</p>
教育長	バックキャストについて、もう一度お願いします。
船橋委員	<p>昭和の高度成長の頃のように未来がある程度見えている時代は、フォアキャストでいいんです。ところが、今のよう未来が全く見えない時代にフォアキャストをやると「自分の将来はだめだ」となってしまいます。未来が明確に見えないのであれば、逆の考えですが、昭和の時代のように偏差値を上げればうまくいくではなく、「自分はこの世界に行こう」という目標を決めやすい時代でもあります。</p> <p>7月にカリフォルニア大学に行った時も先生たちとディスカッションしたときにバックキャストと向こうの先生方も言っていました。カリフォルニア大で学ぶ4年間のうち1年間はリベラルアーツにあてられますが、そのリベラルアーツの中でバックキャストを明確にしていくとのことでした。</p> <p>学校の中ではやらなければならないことがたくさんあるんで、学外の人を呼び込んでいろんな話をすると、子ども達は目が変わると思います。</p>

教育長	ありがとうございます。大変勉強になりました。他に何かございませんか。
教育長	それではこれで自由討論を終了いたします。議事日程5報告事項について、事務局から説明をお願いします。
図書館副館長	<p>「ミライo n図書館のイベントについて」と書いた資料をご覧ください。令和5年9月から11月までのミライo n図書館のイベントについて、ご説明いたします。</p> <p>1「こども向け秋の読書イベント」をご覧ください。資料として、チラシも添付しています。秋の読書週間に合わせ、本の展示、おはなし会、映画上映などのイベントを行います。</p> <p>次に2「長崎県よろず支援拠点講座「クラウドファンディングの活用法について」」でございます。個人事業主や中小経営者向けのクラウドファンディングについて学ぶ講座です。</p> <p>次に3「シニア世代のスマホ講座」でございます。65歳以上の方を対象としたスマホの活用方法について学ぶ講座です。</p> <p>次のページをご覧ください。4「語りのプロと一緒に声を出してみよう！」でございます。資料としてチラシを添付しています。FMおおむらのパーソナリティをされていた伊藤瑞さんを講師に聞き取りやすい発声の仕方など話し方について学ぶ講座です。</p> <p>最後に項目5から8までは定例の催しになりますので、説明を省略いたします。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p>
教育長	何か質問はございませんか。
教育長	しばらく休憩といたします。

◎議案

第34号議案について審議を行った。

◎その他

なし

教育長	これもちまして令和5年9月教育委員会定例会を終了します。 14時55分
-----	--

10月定例教育委員会 10月17日（火） 13時05分から